

## 古典カリキュラム方針

### ●アカデミアクラス古典の主題を定める上での前提

#### a. 批判的思考力の育成

古典テキスト読解のスキル習得を徹底し、その上で、所与の解釈を参照しつつも批判的にテキストを読むことで、妥当性・深まりのある解釈を追究する。

#### b. 創造的思考力の育成

テキスト間に存在する、言語的・思想的・文化的な類似点・相違点を抽出し、それらがそのようにしてあることの理由や意義について探究する。また、古典世界における他者を教養として受容し、自己を歴史的存在として相対化する。

#### c. 実践・実装力

(a) (b) における学びの成果を、種々の手法を用いながらアカデミック（正統的・規範的・堅実）に表現する。

### ●アカデミアクラス古典の主題

「正統的・規範的で豊かな言語生活者となる。」

予測不可能な変化の中でも通用する、汎用的で意義深い知性を築くために、普遍性のある真の思考力や表現力を獲得する。

### ●カリキュラム方針

#### a. 批判的思考力の育成

- 古典テキスト読解に必要な不可欠な要素（文法・単語・古典的世界における文化など）については、愚直に、徹底的に学習する。
- 個人あるいはチームで古典テキスト読解に取り組み、既存の訳などを参照しつつ、テキストを吟味する。それによって、より妥当で正しく、深まりのある解釈を追究する。

#### b. 創造的思考力の育成

- 書かれた時代や場所、あるいはジャンルの異なる多様なテキストを読み深め、読み比べる。
- 探究するに当たっては、一般の書籍や研究書、論文などを適切に読みこなし、学術的なリテラシーを身につける。

#### c. 実践・実装力

- (a) (b) における学びの成果を、学術的な手続きを踏んだ上で文章化する。
- 添削・評価を受けることで、学術的なリテラシーの向上をはかる。

### ●アカデミアクラス古典カリキュラムの概要

正統的・規範的で豊かな言語生活者となることを目的とする。それを実現することによって、予測不可能な変化の中でも通用する、汎用的で意義深い知性を築き、普遍性のある真の思考力や表現力を獲得する。古典の読解に当たっては、基礎的スキルの習得を徹底し、その上で、所与の解釈を参照しつつも批判的に文章を読むことで、妥当性・深まりのある解釈を追究する。また、文章と文章の間に存在する、言語的・思想的・文化的な類似点・相違点を抽出し、それらがそのようにしてあることの理由や意義について探究する。そして探究から得られた成果をアカデミック（正統的・規範的・堅実）に表現する。